



「ニュース・ターミナル」(トラック協会「ニュース」)

10月9日の「トラックの日」に向け広報活動を強化

全日本トラック協会では、10月9日の「トラックの日」に向けて、一般向けの広報活動を積極的に展開する。



いつも安全・安心ガードで大切なお荷物を守っています。トラックは生活と経済のライフライン

①インターネットへの広告掲出(10月1日〜31日) Google(グーグル)社が運営する「YouTube」および日本経済新聞社が運営する「日経電子版」に、令和2年度「トラックの日」ポスターデザインを活用した広告を掲出。広告をクリックすると、全協ホームページの「トラックの日」ページにアクセスできる。掲載回数は、YouTube版38万回、日経電子版50万回の予定。

全日本トラック協会は9月17日、第15回経営改善・情報化委員会を開催。情報化推進事業部会、③情報化推進事業部会、④人材確保・育成対策事業部会、⑤経営改善対策事業部会の進捗状況を報告。①については岩田亨也青年部長に選任され、「コロナ禍に伴う景気後退によるトラック運送業界の経営改善に向けて、委員の皆様とともに努力してまいります」と就任あいさつを行った。

第15回経営改善・情報化委員会 議事では、令和2年度経営改善・情報化対策事業(①青年部会、②女性部会、③情報化推進事業部会、④人材確保・育成対策事業部会、⑤経営改善対策事業部会)の進捗状況を報告。①については岩田亨也青年部長に選任され、「コロナ禍に伴う景気後退によるトラック運送業界の経営改善に向けて、委員の皆様とともに努力してまいります」と就任あいさつを行った。



また、今年度の各種セミナー(IT活用・人材確保・原価計算活用)については、10月下旬から来年3月にかけて、映像配信等も活用しながら実施していくこととした。

また、今年度の各種セミナー(IT活用・人材確保・原価計算活用)については、10月下旬から来年3月にかけて、映像配信等も活用しながら実施していくこととした。

また、今年度の各種セミナー(IT活用・人材確保・原価計算活用)については、10月下旬から来年3月にかけて、映像配信等も活用しながら実施していくこととした。

法令クイズ 路線バスの保護編
1 バス停で路線バスが発進の合図を出したときは、後方の車は急ブレーキ等で回避しなければならない場合を除いて、バスの発進を妨げてはならない。(○×)
2 標識や標示で路線バスの優先通行帯が指定されている道路は、路線バス以外の車も通行できるが、後方から路線バスが近づいてきたときは速やかにそこから出なければならぬ。(○×)
3 路線バスの専用通行帯は、指定された路線バス以外の車は、左折などのやむを得ない場合を除いて通行できない。(○×)
4 バス停留所の表示板の位置から10m以内は駐車禁止である。(○×)
5 バス停に停車中の路線バスの側方を通過していくときは、徐行して安全を確認しなければならない。(○×)

トラック協会における駐車規制の見直し状況や、今年6月の道路交通法の改正、全協として新型コロナウイルス感染症への対応などに関する報告が行われた。
③では、今年増加傾向にある事業用トラックの飲酒運転に關し、各都道府県と協同して、各都道府県下における飲酒運転防止対策の取り組み状況のほか、現在制作中の飲酒運転根絶に向けた啓発用リーフレットおよびDVDについて説明した。

『事業用貨物自動車の交通事故の発生状況』(令和元年データ)を反映



全日本トラック協会は、このほど、令和元年の最新データを反映した『事業用貨物自動車の交通事故の発生状況』(令和元年データ)を発売した。

同冊子は、同年の全国交通事故統計データから、事業用貨物自動車の交通事故の発生状況を統計・分析したもの。A4サイズ・全96ページで、データは全ト協ホームページに掲載されている。

今年度は、事業用貨物自動車総合安全プラン2020の目標最終年であり、これまで以上の交通事故防止対策が必要となるため、全ト協はその一助として同冊子を活用するよう呼びかけている。

令和2年度の活動状況等を報告
第52回適正化事業委員会
9月29日、第52回適正化事業委員会が開催された。

2年度貨物自動車運送事業安全性評価事業の実施状況が報告された。
①では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、国土交通省からの要請に基づき、緊急事態宣言解除日までは巡回指導を自粛し、再開後は予防対策を徹底して実施中であることを報告した。

令和2年度の活動状況等を報告
第52回適正化事業委員会
9月29日、第52回適正化事業委員会が開催された。

九州トラック協会(眞鍋博俊会長)は、「トラックの日」のイベントとして「TRUCK FEELS」(共催：全日本トラック協会)を10月9日(金)18時から、YouTubeで生配信する。

全ト協行事予定
10月1日〜10月31日
10月8日 第18回トラックの森記念植樹式
10月19日 第18回理事会
10月19日 第14回労働安全衛生委員会

危険予知訓練(KYT)シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか?

あなたは明け方の片側2車線の幹線道路を走行しています。前方が工事中であることを示す標識や看板が設置されています。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



◆どのような危険がありますか?

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか?

(解説：3面)



また、⑤に関しては、11月、北海道トラック協会での開催を皮切りに、全国9ブロックで研修カリキュラムをトリアル実施する予定であることが報告された。

また、⑤に関しては、11月、北海道トラック協会での開催を皮切りに、全国9ブロックで研修カリキュラムをトリアル実施する予定であることが報告された。

また、⑤に関しては、11月、北海道トラック協会での開催を皮切りに、全国9ブロックで研修カリキュラムをトリアル実施する予定であることが報告された。

また、⑤に関しては、11月、北海道トラック協会での開催を皮切りに、全国9ブロックで研修カリキュラムをトリアル実施する予定であることが報告された。

また、⑤に関しては、11月、北海道トラック協会での開催を皮切りに、全国9ブロックで研修カリキュラムをトリアル実施する予定であることが報告された。

また、⑤に関しては、11月、北海道トラック協会での開催を皮切りに、全国9ブロックで研修カリキュラムをトリアル実施する予定であることが報告された。

労務Q&A 第211回 台風襲来で泊まり込み時間外のカウントは

は、暦日をまたぎ翌日の始業時刻を超えた継続業務について、当日(つまり前日)と翌日の勤務日ごとで区切られ、労働時間のカウントがどのように行われるかという点になります。
この点、厚生労働省は労働基準法第32条第2項の「1日の法定労働時間」についての行政解釈の中で、「1日は、午前0時から午後12時までのいわゆる1日をいう」とし、さらに「継続勤務が2日を超えた場合には、たとえ暦日を異にする場合でも、一勤務として取り扱い、当該勤務は始業時刻の属する日の労働時間として、当該日の「1日」の労働時間とする(昭和63年1月基発第1号)としていることである。

A 深夜労働分も含め、翌日の始業時刻まで通算

【解説】ご質問によれば、台風当日に泊まり込んだメンバーの業務は、翌日の午前中いっぱいまで続いたということですから、問題の点につき、行政解釈では「労働が継続して翌日まで及んだ場合には、翌日の所定労働時間の始業時刻までの分は前日の」ということとなります。
そこで、その間の各労働時間の性格がどうなるのか、時間を追って見ていきます。まず、泊まり込み当日の始業時刻から終業時刻までの8時間は法定労働時間です。それ以降は時間外労働になりますが、日にちが替わった後、次の日の勤務時間に食い込んだ時間が問題です。

3部会で連携し、特殊車両の通行に関する要望活動を展開

9月16日、第50回鉄骨・橋梁部会(宮地高照部会長)が開催された。
議事では、令和2年度事業報告(案)・2年度事業計画(案)について、3部会合同ワーキングで、今年度は、重量部会・鉄骨部会ともに、重量部会合同ワーキングを開催することを決めた。

九州トラック協会(眞鍋博俊会長)は、「トラックの日」のイベントとして「TRUCK FEELS」(共催：全日本トラック協会)を10月9日(金)18時から、YouTubeで生配信する。

全ト協行事予定
10月1日〜10月31日
10月8日 第18回トラックの森記念植樹式
10月19日 第18回理事会
10月19日 第14回労働安全衛生委員会

「二・ユー・ス・ターミナル」(官公庁二・ユー・ス等)

「効率的な物流ネットワークの強化」などを要求

令和3年度予算概算要求

国土交通省は9月25日、令和3年度予算概算要求概要を公表した。要求概要を公表した。同概要要求では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」および「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」の

5年連続で取扱個数が増加
令和元年度「宅配便取扱実績」
国土交通省は9月18日、令和元年度「宅配便取扱実績」を発表した。取扱実績は、前年度に比べて1647万個(約1.0%)の増加となった。また、メール取扱個数は



第110回 「10年超のタイヤを使用禁止にする法律」

日本と同じように、海に囲まれた島国。面積は日本の約3分の1で、人口は約6700万人と、英国に比べて「生産から10年以上経過したタイヤを車両に装着してはいけない」という法律(以下、「タイヤ10年法」)が今年7月に公布されました。主な対象車両は、後輪軸がダブルタイヤ構造の「大型トラック」や「大型バス」です。大型トラックや大型バスに、タイヤの位置が限定され、生産から10年を超えた新品タイヤおよび再生タイヤの「前輪タイヤ」への装着を禁止するといふものです。

再生タイヤには、再生された年が分かる刻印が存在しません。タイヤ10年法が、1年でもタイヤの側面に記載する必要があるでしょう。この「ダブル表記」です。この英国のタイヤ10年法は、その適用範囲を乗用車の車両まで拡大する流れで、同じ島国の日本にも、ぜひ追随してほしいものです。個人的には、高速道路でのタイヤバースト事故をゼロにするという目標を考慮し、より高い安全性を求め「タイヤ7年法」とするのがベストだと考えます。



厚生労働省では、毎年10月を「年次有給休暇取得促進期間」(写真)と定め、集中的な広報活動を実施する。また、企業における自主的な過重労働防止対策を推進することを目的に、10月から12月を中心に、全国でオンラインによる「過重労働解消のためのセミナー」を開催する。さらに、同キャンペーン初日の11月1日には、フリーダイヤルによる全国一斉の「過重労働解消相談ダイヤル」などを実施する。詳細は、厚労省ホームページを参照のこと。

10月には「年次有給休暇取得促進期間」を定め、集中的な広報活動を実施する。また、企業における自主的な過重労働防止対策を推進することを目的に、10月から12月を中心に、全国でオンラインによる「過重労働解消のためのセミナー」を開催する。さらに、同キャンペーン初日の11月1日には、フリーダイヤルによる全国一斉の「過重労働解消相談ダイヤル」などを実施する。詳細は、厚労省ホームページを参照のこと。

国土交通省は9月25日、「持続可能な国土幹線道路の機能強化を提言」中間とりまとめを発表した。国土交通省は9月25日、「持続可能な国土幹線道路の機能強化を提言」中間とりまとめを発表した。国土交通省は9月25日、「持続可能な国土幹線道路の機能強化を提言」中間とりまとめを発表した。

危険予知訓練(KYT)シートの解説
あなたは明け方の片側2車線の幹線道路を走行しています。前方が工事中であることを示す標識や看板が設置されています。この標識にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。

危険予知訓練(KYT)シートの解説
あなたは明け方の片側2車線の幹線道路を走行しています。前方が工事中であることを示す標識や看板が設置されています。この標識にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。

危険予知訓練(KYT)シートの解説
あなたは明け方の片側2車線の幹線道路を走行しています。前方が工事中であることを示す標識や看板が設置されています。この標識にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。

危険予知訓練(KYT)シートの解説
あなたは明け方の片側2車線の幹線道路を走行しています。前方が工事中であることを示す標識や看板が設置されています。この標識にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。

UD Trucks Quon 8Lエンジン搭載のQuonが更なる生産性を実現
11Lエンジンに加えて8Lエンジン搭載車がラインアップに加りました。ウイングはもちろん、ダンプ、ミキサー仕様もご用意。より多く、より効率的に生産性の高い車両を提供します。
最大700kg\*の積載能力向上を実現
8Lエンジンの採用により、シャーシを300kg軽量化することに成功。また、架装メーカーとの協業によるボディの軽量化で「パーフェクトQuon」に標準仕様車と高積載仕様車を設定しました。
軽量・コンパクトかつパワフルな「GH8エンジン」
ダウンサイジングにより軽量・コンパクトでありながら、低回転から幅広い回転域で力強いトルクを発生。平成28年排出ガス規制に適合するとともに、全車重量車燃費基準+5%を達成。

第1回

# 日常点検項目

毎日の日常点検や定期点検などを適切に実施することは、トラック運送事業者にとっては基本的な責務であるといえます。点検整備を怠ると、車両故障を引き起こすだけでなく、車両故障が発端となる重大事故の発生、また火災による車両・積荷の損失にも繋がり、社会的に大きな影響を及ぼすことがあります。

そこで本シリーズでは、全日本トラック協会制作の「日常点検」および「雪道対策」解説DVDをもとに、車両の点検のポイントについて写真とともに説明していきます。今回は、「日常点検項目と点検のポイント」について紹介します。

なお、同DVDは全ト協ホームページ(右QRコード)から視聴可能です。



## 2 エンジンルームの点検

### 「冷却水量やブレーキ液量などをチェック」

#### ○ウインド・ウォッシャー・タンク



ウインド・ウォッシャー・タンクは、タンク内の液量が適当かを点検します(写真①)。

#### ○ラジエーターなどの冷却装置



ラジエーターなどの冷却装置は、リザーバ・タンク内の冷却水の量が規定の範囲にあるかを点検します(写真⑤)。

#### ●ブレーキのリザーバ・タンク



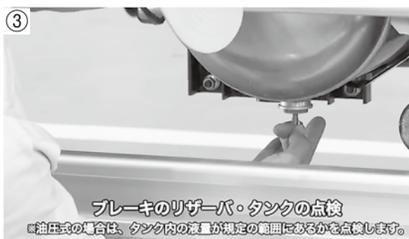
ブレーキのリザーバ・タンクは、タンク内の液量が規定の範囲にあるかを点検します(写真②)。

#### ○エンジン・オイル量



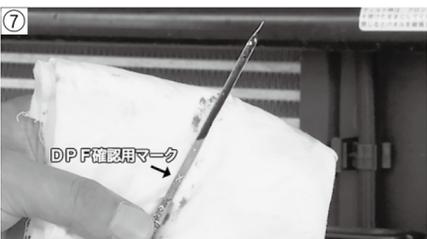
エンジン・オイルの量が、オイルレベルゲージに示された範囲内にあるかを点検します(写真⑥)。

#### ○エア・タンク(エア・ブレーキ車)



エア・ブレーキ車の場合は、エア・タンクのドレンコックを開き、凝水があるかを点検します(写真③)。

#### ○エンジン・オイル量



DPF(ディーゼル微粒子捕集フィルター)装着車の場合、オイル交換の目安となるマーク(写真⑦)がありますので、このマークまでに取まっているかを点検します。

#### ○バッテリー



バッテリーは、各槽の液量が規定の範囲内にあるかを点検します。バッテリーの液量は、バッテリーケース内の液面がケース側面の「UPPER」と「LOWER」の間であれば適正です(写真④)。

#### ○ファン・ベルト



ファン・ベルトは、ベルトの中央部を指で押し、ベルトが少したわむ程度であるかを点検します。さらに、ベルトに損傷がないかを点検します(写真⑧)。

## 3 車の周りからの点検

### 「タイヤ関係の確認などを念入りに」

#### ●タイヤ空気圧



タイヤの点検は、接地部のたわみの状態により空気圧が不足していないかを点検します(写真①)。

#### ○タイヤ溝の深さ



溝の深さに不足がないかをスリップ・サインなどで点検します(高速道路を走行する場合、大型トラック用タイヤは残溝3・2mm以上、小型トラック用タイヤは残溝2・4mm以上)(写真⑤)。

#### ●タイヤ空気圧



タイヤ標準空気圧は、必ず車両に貼り付けられたプレート(写真②)で確認してください。

#### ○スペアタイヤの点検



スペアタイヤの点検項目に関しては、法令改正により平成30年10月1日から、5面「日常点検の手順例」※2で示した内容が3か月ごとの定期点検項目に追加されています(車両総重量8t以上の自動車に限る)(写真⑥)。

#### ●ディスク・ホイールの取付状態



ホイール・ナットの脱落、ホイール・ボルトの折損など異状がないか、ホイール・ボルト付近にさび汁が出た痕跡はないか、ホイール・ナットから突出しているホイール・ボルトの長さに不揃いはないかなど点検ハンマなどで点検します(写真③)。

#### ○エア・ブレーキ



エア・ブレーキが装着されている場合は、ドレンコックを開いて、エアタンクに水がたまっていないかを点検します(写真⑦)。水が多量に出てくる時は、エア・ドライヤーの点検も必要です。

#### ●タイヤ全周の点検



タイヤの全周について、著しい亀裂や損傷がないかを点検します。くぎ、石、その他の異物が刺さったりかみ込んだりしていないかも点検します(写真④)。タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

#### ●灯火装置・方向指示器



灯火装置、方向指示器は、エンジンスイッチを入れ、前照灯、制動灯などの灯火装置の点灯具合や、方向指示器の点滅具合が不良でないかを点検します(写真⑧)。レンズや反射器に汚れや変色、損傷がないかも点検します。

働くドライバーの新しい味方。

# 日野プロフィアハイブリッド

## HINO PROFIA Hybrid・COOL Hybrid



#### 低燃費

大型トラックでも、ハイブリッドの効果が見込める!



#### 快適

モーターで走るから音や振動が少なく疲れにくい!



#### 冷凍性能

クールハイブリッドならではの優れた冷凍・冷蔵性能!



#### 大型ハイブリッドの魅力を紹介!

低燃費で快適性に優れた日野プロフィア COOL ハイブリッドで働く1日を、実感してみてください。



実感するには、コチラ⇒ [日野プロフィア 実感](#)

# 写真で見る

# 『点検のポイント』

～全ト協制作 日常点検DVDより～

## 日常点検の手順例

注：手順は例であって、事業者や車両により必ずしもこの手順通りである必要はありません。なお、右の「写真で見る点検のポイント」は全ト協制作のDVDに準じています。

一凡例一 ●毎回点検する項目 ○適切な時期に点検する項目 ◎エア・ブレーキ車の点検項目

### ◇点検前に

●前日までの異状箇所をチェック

### 1 車の周り・キャブをティルトしての点検

- タイヤの空気圧をチェック
- タイヤの亀裂・損傷・異状摩耗をチェック
- タイヤの溝の深さをチェック
- ディスク・ホイールの取付状態をチェック  
※車両総重量8トン以上のトラックのみ
- 冷却水量をチェック
- ブレーキ液量をチェック
- エンジン・オイル量をチェック
- バッテリー液量をチェック
- ◎エア・タンクの凝水をチェック
- ファン・ベルトの張り・損傷をチェック

### 2 キャブを降ろして運転席での点検

- パーキング・ブレーキ・レバーの引きしりをチェック
- ウィンド・ウォッシャの液量・噴射状態をチェック
- ワイパーの拭き取り状態をチェック
- エンジンのかかり具合・異音をチェック
- エンジンの低速・加速の状態をチェック
- ◎ブレーキの空気圧の上昇具合をチェック
- ランプ類の点灯・点滅、汚れ、損傷状態をチェック
- ブレーキ・ペダルの踏みしり・効き具合をチェック
- ◎ブレーキ・バルブからの異音をチェック

- ※1 運行状況により適切な時期に行う点検項目  
運行状況により適切な時期に行う点検項目に、「ブレーキ・チャンパのロッドのストローク」と「ブレーキ・ドラムとライニングの隙間」があります。
- ※2 スペアタイヤの点検項目  
スペアタイヤの点検項目は、法令改正により、平成30年10月1日から以下の項目が3か月ごとの定期点検項目に追加されています(車両総重量8トン以上の自動車に限る)。  
①スペアタイヤ取付装置の緩み、がたおよび損傷  
②スペアタイヤの取付状態  
③ツールボックスの取付部の緩みおよび損傷

| 表 | 日常点検前の注意事項  | チェック欄 |
|---|---|-------|
| ① | 平たんな場所で行う。  |       |
| ② | タイヤに輪止めをかける。  |       |
| ③ | パーキング・ブレーキを確実に効かせ、チェンジレバーをニュートラルにする。                    |       |
| ④ | エンジンを止め、スターターキーを必ず抜き取る。                                 |       |
| ⑤ | 走行直後の点検はやけどのおそれがあるので、エンジンなどが冷えた状態で行う。                   |       |
| ⑥ | キャブをティルト(引き上げ)する時は、操作手順に従って行う。                          |       |
| ⑦ | 吸気ダクトには物を落とさないようにする。                                    |       |
| ⑧ | エンジンの上に乗る時は、パイプ類、エア・クリーナなどの補機類に足を掛けないようにする。             |       |
| ⑨ | 点検、手入れ終了後は、エンジン・ルーム内にウエス(布)など燃えやすい物や工具などの置き忘れがないか、点検する。 |       |
| ⑩ | 点検、手入れ終了後は、オイル漏れ、液漏れおよび水漏れがないか、必ず点検する。                  |       |

### ◇点検前に

日常点検を安全でスムーズに実施するために、表で示した注意事項を確認し、徹底を図りましょう。  
また、前日または前回の運行中に異状を認めた箇所については、運転に支障がないかを点検してください。



日常点検を確実に実施するには、あらかじめ作成しておいた日常点検記録表に基づいてチェックしながら行うことで、点検漏れもなく効率的に実施できます。  
日常点検が終了したら、整備担当者に日常点検記録表を提出し、確認印をもらいます。

## 1 運転席での点検

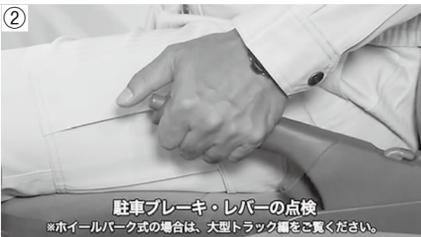
## 「ブレーキやエンジンの状況などを確認」

### ●ブレーキ・ペダル



ブレーキ・ペダルは、エンジンをかけた状態で、ブレーキ・ペダルをいっぱい踏み込んだ時、床板との隙間や踏みこたえが適切であるか、マットや異物のかみ込みがないかを点検します(写真①)。

### ●駐車ブレーキ・レバー【小型】



駐車ブレーキ・レバーは、一杯に引いた時、引きしりが多すぎたり少なすぎたりしないかを点検します(写真②)。

### ●駐車ブレーキ・レバー【大型】



ホイールパーク式の場合は、エンジンをかけて、規定の空気圧の状態ではレバーを駐車位置まで引いた時、レバーが固定され、空気の排出音が聞こえるかどうかを点検します(写真③)。

### ○エンジンのかかり具合



速やかに始動し、スムーズに回転するかを点検します(写真④)。エンジン始動時、およびアイドリング状態で異音がないかも点検します。また、エンジンを暖機させた状態で、アイドリング時の回転がスムーズに続くかを点検します。

### ○ウィンド・ウォッシャとワイパー



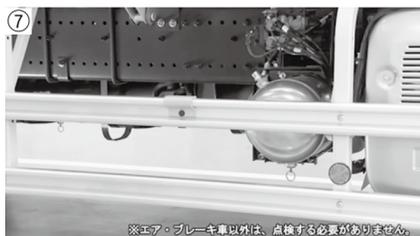
ウィンド・ウォッシャは、液の噴射向きなどが適切かどうかを点検します。また、ワイパーを作動させ、間欠、低速、および高速の各作動が不良でないかを点検します。きれいに拭き取れるかも点検します(写真⑤)。

### ◎空気圧力計



空気圧力計は、エンジンをかけて、空気圧の上がり具合が極端に遅くないかを点検します。また、空気圧力が空気圧力計に表示された範囲にあるかを点検します(写真⑥)。

### ◎ブレーキ・バルブ



ブレーキ・バルブは、ブレーキ・ペダルを踏み込んで離した時、ブレーキ・バルブからの排出音が正常であるかを点検します(写真⑦)。

### ●警告ランプ



最近のトラックには、安全および環境に配慮した装置が搭載されています。異常がある場合は警告ランプ(写真⑧)が点滅あるいは点灯しますので、各社のマニュアルを参照してください。

**2020年 9月23日、関東(東京)⇔九州(北九州) デイリー運航再開!**

**夜発 ⇒ 翌夜着 最速 25.5h!**  
(21:00) (22:30)

「物効法対応ご相談ください」  
「運行の省力化・効率化に！」  
「労務管理強化に！」

ご予約・お問い合わせ・メールアドレス  
営業二部 TEL:03-6774-6886  
菊田支店 TEL:093-434-5118

商船三井フェリー

**燃料調達の高安定性も、天然ガストラックの魅力です**

天然ガスは産出地域が世界各国に分布しており、日本は1969年のアラスカからのLNG導入後、オーストラリア、マレーシア、カタール、ロシア、インドネシア、アラブ首長国連邦など世界各国からLNGを調達しています。近年は米国からのシェールガス輸入や長期にわたるLNG契約、上流権益の獲得などを通じ、安定供給に積極的に取り組んでいます。

●LNG輸入実績

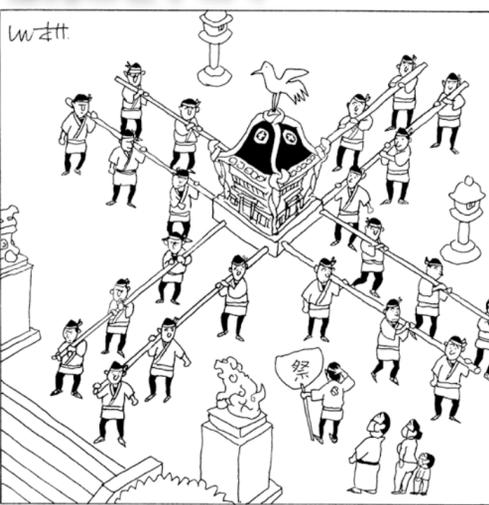
【対象となるSDGsの例】

都市間輸送の環境改善に貢献する大型天然ガストラック

一般社団法人 日本ガス協会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12 TEL:03-3502-0215 http://www.gas.or.jp/ngvj/



ほんのヒトコマ



ソーシャルディスタンスを考えたお神輿にした結果今年のお神輿は神社から出られないことに……!

法令クイズ

- クイズ questions regarding road traffic laws, including rules for bus lanes and pedestrian crossings.

生産性向上を通じて最低賃金の引上げを図りましょう
今年より最低賃金改定 最低賃金額の確認を!

厚労省

厚労省では、中小企業・小規模事業者に対し、最低賃金引上げに向けた生産性向上等の支援を行う。

令和2年度地域別最低賃金改定状況
全国加重平均額は、昨年度比1円増の902円に

この10月から、最低賃金が改定されます。最低賃金制度とは、最低賃金法に基づき、国が賃金の最低額を定め、使用者は、その最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければならないとする制度です。

表1 令和2年度地域別最低賃金額

Table with 3 columns: 都道府県名, 最低賃金時間額(円), 発効年月日. Lists minimum wage rates for all 47 prefectures and the national average.

食の新旧街道を行く

今年秋祭は新型コロナウイルスで神輿中止もあり、「ご馳走だけが楽しみ」という声を聞く。九州なら、女界灘を臨む福岡と大分県日田を結ぶ日田街道とほぼ同じ。



表2 業務改善助成金の概要

Table with 4 columns: コース区分, 引上げ額, 助成上限額, 助成対象事業場. Details the grant amounts and conditions for different wage increase tiers.

厚労省では、中小企業・小規模事業者に対し、最低賃金引上げに向けた生産性向上等の支援を行う。

Advertisement for PAMAN Ad Blue, featuring product images, specifications, and contact information for the company.

Advertisement for truck automation, including an article titled 'トラックの自動運転への挑戦' and contact information for a logistics journalist.

